

クラブ例会に於いても同じであると考えております。会長・幹事、理事会、各委員会との繋がりを深めることが情報の共有となつてきます。クラブのイメージや発展を考え実施するよりは、むしろクラブ内で各委員会の回数を増やすことにより、多くの情報を共有する中から、色々な問題点や足りない所を再確認することが最重要であると考えています。

今の各クラブの現状に合わせてCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)や研修リーダー設置による研修委員会プログラムなどが出てきておりますが、参考になる所を取り入れて、コミュニケーションの執り方を各クラブで検討して実施することが活性化に繋がると思っています。

たとえば、新入会員はどの様に接していいのかわからないと思います。そこでクラブ会員の方からコミュニケーションを執り、身を持って姿勢を見せる事が大切だと思っています。コミュニケーションは親睦と情報の共有に繋がっていきます。入会5年未満の会員の方は、勉強するよりもロータリアンの先輩に聞く姿勢を持って下さい。分からない事は(どンドン)諸先輩方に質問して下さい。

5年以上の会員の方は、いい悪いは別として、質問に対して答えてください。そして押し付けるのではなく導いて下さい。それが自分自身の研鑽にも繋がっていくと考えています。

本日の3クラブ合同例会開催に当たりまして、ご尽力いただきました皆様には感謝しております。ありがとうございました。

■三クラブ合同例会卓話 千葉西ロータリークラブ 会長 遠藤 平

3クラブ会長卓話合戦のトリを基た僥越ではありますが務めさせていただきます。見識豊かな吉田会長、清水会長の卓話の後ということで聊か緊張気味であります。

11月はロータリー財団月間であり、平素よりロータリー財団への寄付啓蒙と活動理解に各クラブロータリー財団委員会は努力されております。ロータリー財団月間を通して、財団の役割、活動内容を広く知らしめる事が各クラブロータリー財団委員会の役目と認識いたしております。一層のご努力をお願い致します。

さて、本年度は皆様ご承知のことと存じますが、ロータリー財団が誕生して100年を祝う年であり、ロータリアンひとり一人が一世紀に及びロータリー財団の歴史、果たしてきた「良いこと」を振り返り、未来へ向けての検証、研究、学びの年と理解いたしております。

ここで、復習の意味をこめて「ロータリー財団とは」からお話しを始めさせていただきます。正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。NPO(非営利団体)でロータリアンを始め、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の寄付のみによって支えられています。

次に「ロータリー財団の使命」についてであります。ロータリアンが、世界で健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通して、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすることです。それらを具現化するための方策として、効果的に補助金を利用できるように、2013-14年度に財団プログラムが大幅に見直しされました。

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることにあり、標語として『世界でよいことをしよう(Doing good in the world)』を掲げました。ロータリー財団は、1 地区補助金、2 グローバル補助金、3 パッケージ・グラントの3種類の補助金を提供します。地区補助金は、ロータリアンが地元や海外で財団の使命に沿った短期の活動やプロジェクトを実施するために活用できる補助金であり、グローバル補助金は、諸条件に該当する大規模なプロジェクトに活用できる補助金です。パッケージ・グラントは、ロータリーと戦略パートナーがあらかじめ大枠を設定したプロジェクトに、クラブや地区が参加するタイプの補助金です。グローバル補助金と同様、パッケージ・グラントもロータリーの重点分野に該当する活動である人道的プロジェクト、奨学金、VTT 職業研修チーム(旧GSE)に充てられます。ただし、パッケージ・グラントではプロジェクトの枠組みがあらかじめ定められており条件付きです。

新補助金体制における六つの重点分野があり、1 平和と紛争予防と紛争解決 2 疾病予防と治療 3 水と衛生 4 母子の保健 5 基本的教育と識字率向上 6 経済と地域社会の発展に活動内容が分別されています。



歴史的には1917年、6人目の国際ロータリー会長、アーチ C クランフが「基金を作り良いことをしよう」とアトランタ国際大会で提案したのが始まりです。この基金が発展し、1928年にロータリー財団と名づけられ、国際ロータリーから独立した別機関となりました。

以上、雑駁ではありますが本年度誕生から100年を迎えるロータリー財団の使命、歴史を話させていただきました。2016~2017年度国際ロータリー会長、ジョンFジャーム氏のテーマであります「人類に奉仕するロータリー」が空念仏にならぬよう、ロータリー財団への寄付啓蒙と活動理解に務めてまいり所存であります。会員みなさまに於かれまして一層のご理解、ご協力をお願い申しあげ纏まりませんが会長卓話とさせていただきます。



■ニコニコBOX

- ・遠藤…千葉東、千葉若潮の皆様歓迎申し上げます。仲良くやりましょう。
- ・大森…千葉東RC、千葉若潮RCの皆さん、ようこそいらっしゃいました。
- ・花光…三クラブ合同例会を祝して
- ・野口アキ子…米山記念奨学委員会で大変お世話になりました。
- ・前野…本日は、三クラブ合同例会ありがとうございます。
- ・白井…出産祝いを頂きありがとうございます。



本日の出席	総数	対象者	出席	欠席	出席率	合計	11月15日(火) クラブフォーラム 担当/ロータリー財団委員会
	55名	42名	33名	15名	68.75%		
前々回修正	メーキャップ			欠席	出席率	累計	点鐘 12時30分 東天紅
			3名	9名	81.63%	505,000円	